

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2008年2月4日~2月8日)

発表日: 2008年2月1日(金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

(2月4日~2月8日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
2月4日(月)	8:50 1月マネタリーベース (前年比)	—	—	—	+0.4%
2月5日(火)					
2月6日(水)	14:00 12月景気動向指数 DI一致指数 DI先行指数	66.7% 40.0%	66.7% 40.0%	55.6%~77.8% 40.0%	30.0% 18.2%
2月7日(木)	岩田日銀副総裁挨拶				
2月8日(金)	8:50 12月機械受注 船電除く民需 (前月比) (前年比)	+1.0%	▲0.9% ▲1.0%	▲4.7%~+5.0% ▲4.8%~+2.2%	▲2.8% +0.9%
	8:50 1月マネーサプライ M2+CD(前年比) 広義流動性(前年比)	+2.0%	+2.1% +3.5%	+2.0%~+2.2% +3.3%~+3.9%	+2.1% +3.6%
	8:50 1月貸出・資金吸収動向 国内銀行貸出残高(調整後前年比)	—	—	—	+0.8%
	13:30 12月特定サービス産業動態統計	—	—	—	—
	14:00 1月景気ウォッチャー調査 現状判断 DI 先行き判断 DI	— —	— —	— —	36.6 37.0

(注) 市場予測はBloombergの調査をベースに作成

【重要指標の当社予測とコメント】

12月景気動向指数(一致指数/先行指数) 当社予想: 66.7%/40.0% 中央値: 66.7%/40.0%

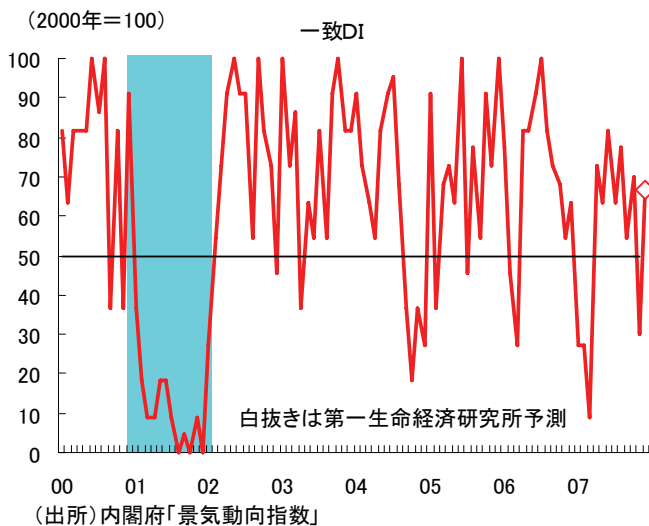
DI先行指数が40.0%、DI一致指数が66.7%が予想される。DI一致指数は11月に50%割れとなっていたが、12月に再び50%を上回ることにより、07年いっぱい景気の回復基調が崩れていなかったことが示唆されるだろう。もっとも、08年入り以降については下振れリスクが強まっており、景気回復局面が持続できるかどうか微妙な局面にさしかかっている。米国景気失速リスクは日に日に大きくなっており、これまで景気を支えてきた輸出がこの先落ち込む可能性が高まりつつあることに加え、先日公表された鉱工業生産指数では1、2月の予測指数が共に前月比マイナスになり、生産ピークアウト懸念が一気に高まった。DI一致指数と鉱工業生産は連動性が高いため、今後実際に生産活動が弱まっていけば、2007年10-12月期が景気の山と認定される可能性が高くなる。

12月機械受注・船電除く民需(前月比) 当社予想: 前月比 +1.0% 中央値: 同 ▲0.9%

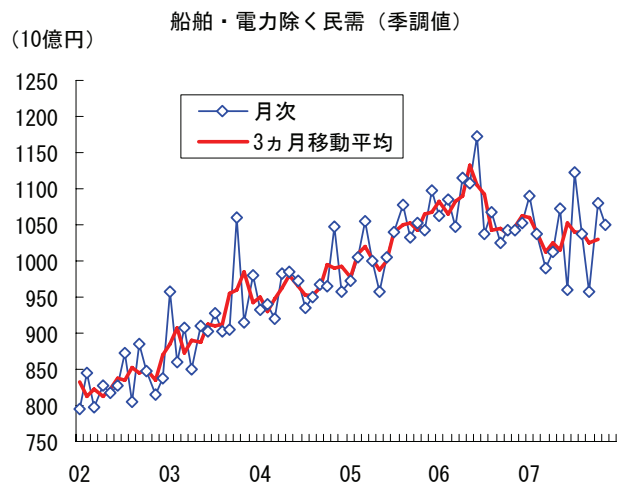
前月比+1.0%と小幅増を予想する。予想通りであれば07年10-12月期は前期比+2.3%と2四半期連続で増加となる。機械受注の持ち直し傾向が続いていることが確認されるとみられる。関連指標の動向をみると、12月の工作機械受注(内需)は前月から伸び率が若干拡大、半導体製造装置受注(国産)は大幅なマイナスとなっている。

また今月は、1-3月期の内閣府見通しも同時に公表される。見通しと実績の乖離は大きいので、これのみで判断することは危険だが、今後の設備投資を見通す上ではやはり重要だ。

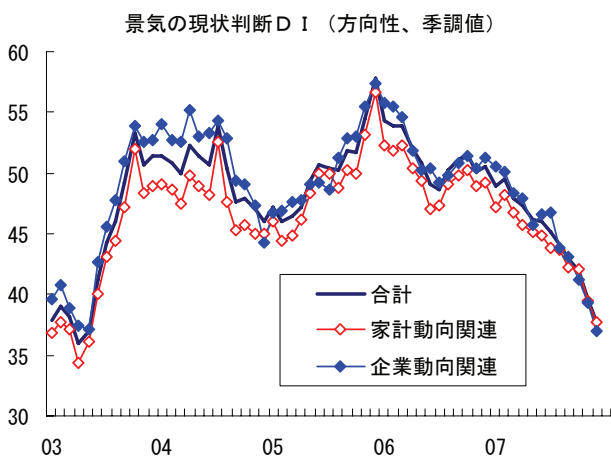
図表 1



図表 2



図表 3



以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

2月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
28 12月企業向けサービス価格指数(8:50) (米)12月新築住宅販売件数	29 12月労働力調査(8:30) 12月一般職業紹介状況(8:30) 12月家計調査(8:30) 12月商業販売統計(8:50) (米)12月耐久財受注 (米)1月CB消費者信頼感指数	30 12月鉱工業指数(8:50) (米)10-12月期実質GDP(速報値) (米)FOMC	31 12月毎月動労統計(10:30) 12月住宅着工統計(14:00) 西村日銀審議委員挨拶 2年利付国債 (米)12月個人所得・消費 (米)12月PCEデフレーター (米)12月求人広告指数 (米)1月シカゴPMI (欧)1月消費者物価(速) (フィリピン)10-12月期実質GDP	2/1 12月家計消費状況調査(14:00) 1月自動車販売(14:00) 1月軽自動車販売(14:00) (米)1月雇用統計 (米)1月ISM製造業指数 (米)1月ミシガン大センチ(確) (米)1月自動車販売 (米)12月建設支出 (欧)1月製造業PMI(確定値)
4 1月マネタリーベース(8:50) (米)12月製造業受注	5 10年利付国債	6 12月景気動向指数(14:00)	7 岩田日銀副総裁挨拶 10年物価連動国債 (米)12月中古住宅販売保留 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	8 12月機械受注統計(8:50) 1月マネーサプライ(8:50) 1月貸出・資金吸収(8:50) 12月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 1月景気ウォッチャー調査(14:00)
11	12	13 1月企業物価(8:50) 12月国際収支(8:50) 1月消費動向調査(14:00) 5年利付国債 (米)1月小売売上高	14 10-12月期GDP1次速報(8:50) 12月鉱工業指数・確(13:30) 12月商業販売統計・確(13:30) 金融政策決定会合(～15日) (米)12月貿易収支 (仏)10-12月期実質GDP (欧)10-12月期実質GDP (独)10-12月期実質GDP	15 1月投入・産出物価指数(8:50) ※1月全国百貨店売上高(14:30) 2月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)1月輸入物価 (米)2月ミシガン大消費者センチ(速) (米)12月対米証券投資 (米)1月鉱工業生産 (米)2月NY連銀製造業指数
18 2月ロイター短観(8:30) 12月第3次産業活動指数(8:50) 12月毎月動労統計・確(10:30) 12月景気動向指数改訂(14:00) 12月建設総合統計(14:00)	19 15年変動利付国債 (米)2月NAHB住宅市場指数 ※(台湾)10-12月期実質GDP	20 金融政策決定会合議事要旨(1月21・22日分)(8:50) 1月コンビニエンスストア統計(16:00) ※2月月例経済報告 (米)1月消費者物価 (米)1月住宅着工件数 (米)2月建設許可件数 ※(欧)2月製造業PMI(速報値)	21 12月全産業活動指数(8:50) ※1月貿易統計(8:50) (米)2月フィラ連銀指数 (米)1月景気先行指標	22 ※1月チェーンストア販売統計(14:00) 福井日銀総裁講演
25 (米)1月中古住宅販売件数 (タイ)10-12月期実質GDP ※(スロニア)10-12月期実質GDP	26 1月企業向けサービス価格指数(8:50) 20年利付国債 (米)2月CB消費者信頼感指数 (独)2月ifo景況感指数	27 (米)1月耐久財受注 (香港)10-12月期実質GDP	28 1月鉱工業指数(8:50) 1月商業販売統計(8:50) 2年利付国債 (米)10-12月期実質GDP(改定値) (米)1月求人広告指数	29 1月消費者物価・全(8:30) 2月消費者物価・都(8:30) 1月労働力調査(8:30) 1月一般職業紹介状況(8:30) 1月家計調査(8:30) 1月住宅着工統計(14:00) (米)1月個人所得・消費 (米)1月PCEデフレーター (米)2月ISM製造業指数 (米)2月ミシガン大センチ(確)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

3月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3/3 1月毎月勤労統計(10:30) 2月自動車販売(14:00) 2月軽自動車販売(14:00) (米)2月自動車販売 (米)1月建設支出 (欧)2月消費者物価(速) (欧)2月製造業PMI(確定値)	4 2月マネタリーベース(8:50) 1月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債	5 10-12月期法人企業統計(8:50) (米)10-12月期非農業部門労働生産性(確) (米)1月製造業受注 (米)2月ISM非製造業指数	6 1月景気動向指数(14:00) 金融政策決定会合(～7日) (米)1月中古住宅販売保留 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	7 3月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)2月雇用統計 (米)1月消費者信用残高
10 1月機械受注統計(8:50) 2月マネーサプライ(8:50) 2月貸出・資金吸収(8:50) 1月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 2月景気ウォッチャー調査	11 5年利付国債 (米)1月貿易収支	12 10-12月期GDP2次速報(8:50) 2月企業物価(8:50) 1月国際収支(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(2月14・15日分)(8:50) 2月消費動向調査(14:00) (米)2月財政収支	13 1月鉱工業指数・確(13:30) 1月商業販売統計・確(13:30) (米)2月輸入物価 (米)1月企業在庫 (米)2月小売売上高	14 2月投入・産出物価指数(8:50) ※3月月例経済報告 (米)2月消費者物価 (米)3月ミンガン大消費者センチ(速)
17 1月第3次産業活動指数(8:50) 1月毎月勤労統計・確(10:30) 1月景気動向指数改訂(14:00) 1月建設総合統計(14:00) (米)2月鉱工業生産 (米)10-12月期経常収支 (米)1月対米証券投資 (米)3月NAHB住宅市場指数 (米)3月NY連銀製造業指数 (欧)3月製造業PMI(速報値)	18 20年利付国債 (米)2月住宅着工件数 (米)2月建設許可件数	19 3月ロイター短観(8:30) 1月全産業活動指数(8:50)	20 (米)2月景気先行指標 (米)3月フィラ連銀指数 ※(欧)3月製造業PMI(速報値)	21 10-12月期資金循環(8:50) 2月コンビニエンスストア統計(16:00)
24 1-3月期法人企業景気予測調査(8:50) ※2月チェーンストア販売統計(14:00) ※平成20年地価公示 (米)2月中古住宅販売件数	25 ※2月全国百貨店売上高(14:30) 2年利付国債 (米)3月CB消費者信頼感指数	26 2月企業向けサービス価格指数(8:50) ※2月貿易統計(8:50) (米)2月耐久財受注 (米)2月新築住宅販売件数 (独)3月Ifo景況感指数	27 (米)10-12月期実質GDP(確定値) (米)2月求人広告指数	28 2月消費者物価・全(8:30) 3月消費者物価・都(8:30) 2月労働力調査(8:30) 2月一般職業紹介状況(8:30) 2月家計調査(8:30) 2月商業販売統計(8:50) (米)3月ミンガン大センチ(確) (米)3月個人所得・消費 (米)3月PCEデフレーター
31 2月鉱工業指数(8:50) 2月毎月勤労統計(10:30) 2月住宅着工統計(14:00) (米)3月シカゴPMI (欧)3月消費者物価(速)	4/1 3月日銀短観(8:50) 3月自動車販売(14:00) 3月軽自動車販売(14:00) 2月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (米)3月ISM製造業指数 (米)2月建設支出 (米)3月自動車販売 (欧)3月製造業PMI(確定値)	2 3月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 3月マネタリーベース(8:50) (米)2月製造業受注	3 10年物価連動国債 (米)3月ISM非製造業指数	4 (米)3月雇用統計

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。